

## Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 67 木村 年晶 (同志社大学)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■ 日本健康心理学会第31回大会 (京都橋大学) へのご尽力の御礼  
日本健康心理学会第31回大会委員長 日比野 英子

本年の大会を6月23日(土)・24日(日)に京都橋大学で開催しましたところ、両日で会員・非会員合わせて450名ほどのご参加をいただきました。当日はあいにくの雨の中、また大阪北部地震の直後であったにもかかわらず、たくさんの皆様にご参加・ご協力いただきましたこと、誠にありがとうございました。大会前日の22日(金)にはヤングヘルスサイコロジストの会に熱心な若手会員の皆様が集い、23日夜の懇親会には約120名の皆様に知の交流や伝統芸能を楽しむひと時をお過ごしいただきました。

今年の大会は例年と異なりとても早い時期の開催であり、研究発表のご準備が心配でしたが、結果的には約150件の発表を数えることができました。皆さまのご協力で深く感謝申し上げます。また、研究の新しい地平を切り開くシンポジウム企画を多くお寄せいただき、とても充実したプログラムを構成することができました。深謝申し上げます。

今回は懇親会の場にて発表賞の授与式も行い、賞状とともに京都伝統産業和紙ノート、さらには竹中理事長がサプライズでご準備くださったTシャツが手渡されました。大会優秀発表賞「新奇・独創性部門」を受賞されました大場健太郎先生、同「若手奨励部門」を受賞されました村山陽先生、小林正法先生、後藤凜子先生、誠にありがとうございます(写真は、受賞された4名のうち、サプライズTシャツ「I am a significant Health Psychologist p<.0001」を着て竹中理事長とともに笑顔の大場先生、村山先生、小林先生)。

皆様の様々な形でのご尽力により、とても盛会のうちに第31回大会を終えることができました。本当にありがとうございました。



## 2) 健康心理学コラム Vol. 67

「私たちの未来としての「高齢者のこころ」を追い求めて」  
木村 年晶 (同志社大学)

私はこれまで高齢者を対象に研究をしてきました。そのきっかけとなったのは、たまたま読んだ次の一節でした。「我々はすべて、年をとって白人や黒人になるということはない。しかし、我々はすべて、年をとると老人になる (Butler, 1969)」。私は、自分の未来を知る手掛かりとして、高齢期における心理的 well-being を中心に研究を進めてまいりました。

高齢者は、若年者よりもポジティブな感情を引き起こす内容が多く処理されますが、ネガティブな感情を引き起こす内容は処理されなくなります。この加齢に伴い生じる情報処理におけるバイアスのことをポジティブティ・エフェクト (positivity effect: Mather & Carstensen, 2005) といいます。例えば、木村・内山 (2015) は、ネガティブな関係が選択的に排除されるため、ポジティブな関係のみが保持されることを示し、こうした選択が高齢者の幸福感につながっていることを明らかにしています。

このポジティブティ・エフェクトが生起するメカニズムは、大きく分けて、「不快感情を喚起させる情報から注意をそらす (Charles, 2010)」ことによって生じるとする説と「快感情を喚起させる情報に注意を傾ける (Mather & Knight, 2005)」とする説がありますが、どちらの説が正しいのか、必ずしも明確な結論は出ていません。私は現在、従来から心理学が大事にしてきた「行動指標」と、近年実験機器の目覚ましい進歩によってより簡便に測定が可能となった「脳活動」を組み合わせることで、この問題に取り組んでいます。

## 文献

- Butler, R. N. (1969). Age-ism: Another form of bigotry. *The Gerontologist*, 9, 243-246.
- Charles, S. T. (2010). Strength and vulnerability integration (SAVI): A model of emotional well-being across adulthood. *Psychological Bulletin*, 136, 1068-1091.
- 木村年晶・内山伊知郎 (2015). 社会的相互作用の親密度及び情動価と高齢者の主観的幸福感の関連 *健康心理学研究*, 28, 23-32.
- Mather, M., & Carstensen, L. L. (2005). Aging and motivated cognition: The positivity effect in attention and memory. *Trends in Cognitive Sciences*, 9, 496-502.
- Mather, M. & Knight, M. (2005). Goal-directed memory: The role of cognitive control in older adults' emotional memory. *Psychology and Aging*, 20, 554-570.

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止, アドレス変更は下記アドレスまで  
日本健康心理学会事務局 <[jahp-post@bunken.co.jp](mailto:jahp-post@bunken.co.jp)>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで  
広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>  
過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます  
<http://jahp.wdc.jp.com/health/health1.html>